

令和5年度 港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽小学校・港陽中学校 学校経営計画

050403

「港区教育ビジョン」や「港区学校教育推進計画」を踏まえ、学校運営協議会を設置した小中一貫教育校として教育活動を実施することにより、児童・生徒一人一人の学校生活を充実させながら、徳・知・体の調和のとれた「生きる力」の育成を図る。

- 港区の学校経営の視点 1 児童・生徒が安全で安心して過ごすことができる学校づくり
2 子どもたちがいきいきと楽しく学ぶことができる学校づくり 3 保護者・地域に信頼される学校づくり

目指す学校像

- 児童・生徒が安心して学校生活を送ることができ、笑顔や真剣なまなざしにあふれる学校
- 地域やPTAと協働し、児童・生徒の「心のふるさと」となる学校

お台場学園教育目標

- 心豊かで思いやりのある人（徳）
- 自ら考え、自ら学ぶ人（知）
- 心身ともに健やかな人（体）

目指す教師像

- 児童・生徒の発達段階や個の特性を理解し、一人一人の良さを引き出すことのできる教師
- 教育活動を創造する意欲をもち、組織の中で前向きに協力できる教師

地域と共にある特色ある学校づくり

- コミュニケーションスクールとして、学校運営協議会と連携した教育活動を展開する。地域にある保、幼・小中の接続・連携を重視するとともに、地域コーディネーターと連携し、保護者や地域と協働しながら地域の教育資源を活用する。
- 小中一貫教育校として、港陽小・中の職員が連携した学校行事の運営や、9年間を見通した ODAIBA プランに基づく授業を展開する。

<具体的な取組>

【豊かな心の育成】 幼児・児童・生徒が、学校生活の多様な場面で、計画的な相互交流を行い、リーダーシップの發揮、助け合い、学び合いを通して、思いやりのある豊かな心を育む。

- ①「特別の教科 道徳」の、研究発表の成果の継続(ほほいきなり中心発問、全校道徳等)
- ②アンケート調査やいじめ対策校内委員会を活用した、いじめ防止推進事業の充実
- ③生徒会、代表委員会、レンボー班活動等による自主的活動・自治活動の設定や WEBQU を活用した望ましい学級・学年集団の育成
- ④デジタルシチズンシップ教育の充実(SNS ODAIBA ルールの徹底、セーフティ教室の実施等による情報モラルの向上)
- ⑤教育相談体制の充実(SC、SSWとの連携)
- ⑥保育実習、絵本読み聞かせ等による幼・保との連携

【確かな学力の定着・充実】 小中学校の学びの接続・系統性を重視し、確かな学力の向上を図る。

- ①ユニバーサル・デザインの視点を取り入れ、すべての子が分かる！できる！授業の実現
- ②日本教育工学会(JAET)と連携し、タブレット等を効果的に活用した授業の研究、実施
- ③国際理解教育の充実
- ④家庭・音楽の教科を中心に小中の接続を意識した授業
- ⑤少人数指導、教科担任制による教科授業の実施(算数・数学、体育、英語他)
- ⑥読書活動の充実(朝読書、読書時間等)
- ⑦基礎学力向上への取組(基礎基本の時間、朝学習での脳の活性化トレーニングの実施)
- ⑧地域学校協働としての英語検定、漢字検定等の実施

【健康でたくましい体】 体育、保健体育の授業及び、体育的行事や運動部活動の充実を図り、健康な体づくりを推進する。進んで運動しようとする態度を育てて体力の向上を図る。関係機関と連携した保健教育や食育を推進し、望ましい生活習慣を身に付けさせる。

- ①幼・小中合同運動会へ向けての移行実施
- ②体育朝会、外遊び等の充実、ボルダリング設備の活用
- ③持久走への取組(お台場マラソン)、体力向上時間(長縄時間)等の設定
- ④健康アップ会議(学校保健委員会)の開催
- ⑤ゲストティーチャーを活用した授業の積極的な実施(ピーチバレーボール、タグラグビー、薬物乱用防止教室、感染症やがんについての授業等)
- ⑥給食を中心とした食育の充実

【特色ある教育の推進・保護者、地域との連携】 PTAや地域行事に積極的にかかわり、教職員、保護者、地域住民相互の連携を深め、地域に根差した魅力ある学校づくりを進める。

- ①海を活用した環境教育の充実(お台場海苔づくり、セーリングヨット部等)
- ②地域防災への貢献(お台場学園防災 Jr.チームの活動、地域の防災訓練への参加等)
- ③地域の教育資源、企業・事業所との連携(フジテレビ、アクアシティ、船の科学館等)
- ④地域行事への積極的な協力(お台場夏祭り、水辺フェスタ等)
- ⑤ヒオトープや太陽光発電装置等を活用した環境教育の推進

【特別支援教育の推進】 学校全体で、特別支援教育に対しての理解を深めながら、インクルーシブ教育を推進する。

- ①特別支援教室「そよかぜ教室」及び特別支援学級「さざなみ学級」での、個に応じた教育の充実
- ②さざなみ学級の学年との連携

【教職員の働き方改革の推進】 ライフ・ワークバランス改善のための環境整備

- ①毎週水曜日の定時退勤
- ②長期休業期間の学校閉門日増
- ③Teams 等を活用した会議・打ち合わせの工夫
- ④地域コーディネーターとの連携
- ⑤スクールサポートスタッフの活用
- ⑥教科担任制講師や部活動指導員制度の活用
- ⑦学校衛生委員会の設置・運営